



坂井レイラ知美

幼少期よりクラシックピアノを始め、就職後に出会った人々の影響から、再び音楽への道を志し、Jazz ヴォーカリストの沖野ゆみ氏に師事。

2014年、トップギタリストでもある平岡遊一郎氏をプロデューサーに迎え、DuoLiveを各地で行い始める。

2016年10月に日本屈指のトランペッターの高瀬龍一氏を迎え、平岡氏と高瀬氏の Trio 編成で、自身の 1st Album 「Whisper not」を発表。

2017年6月に「Whisper not」が全国リリースとなり好評を博し、

僅か1年後の2018年6月、1st Album に引き続き、平岡遊一郎(gt)、高瀬龍一(tp)に加え、新たに、トップミュージシャンの三木俊雄(ts)、奥山勝(pf)、早川哲也(bs)、石川智(ds)、「もにじん」から matsumonica(harm)、長澤紀仁(gt)を迎え、待望の 2nd Album 「The Island」をリリース。

2019年6月には、3年連続での Album 「STOLEN MOMENTS」を発表。

2022年12月、4th Album 「Straight No Chaser」を T-TOC Records より発表。

着実にその名を広げ、今後の活躍を期待されるシンガー。

Jazz の黄金期における女性ヴォーカリストを彷彿をさせるハスキーヴォイスで、国内外でもライブやレコーディング等、幅広く活動中。



平岡遊一郎

Jazz、ブラジル音楽、ポップス等様々なジャンルで活動中。'99~'01 までカリフォルニアにてプロのセッションマンとして活動した後'02 より東京に拠点を移す。チャーリーパーカーやマイルスデイヴィスのピアニストだった故 Walter Bishop Jr.のコンサートにデュオで共演、ハワイのウクレレの神様と称賛されている HarbOta-San のコンサートに参加等をはじめ、上田正樹、小野リサ、伊藤君子、ピンクレディほか多数のコンサート、レコーディングに参加。



リンヘイテツ

4歳よりピアノを始める。15歳まで東京音楽大学教室にてクラシックピアノ・音楽理論を学び1988年毎日新聞社主催学生音楽コンクールにて奨励賞受賞。立教大学文学部入学後ジャズに興味を持ち始め、ユキ・アリマサ氏よりジャズピアノを学ぶ。2001年アメリカへ渡りバークリー音楽大学ジャズコンポジション科を専攻。引き続きジャズピアノ・音楽理論を学び演奏活動を開始。現在に至るまでの音楽活動は多岐にわたる。



濱田省吾(ハマダシヨウゴ)

1993年山口県生まれ。2012年に国立音楽大学ジャズ専修へ入学、ドラムを高橋徹、神保彰、アンサンブルを小曾根真に師事。2014年夏に井上陽介のセッションへ参加したことからプロとしての活動を始める。第33回浅草ジャズコンテストにてグランプリを受賞。2016年春に国立音楽大学を卒業。2017年ミスタードーナツのCM「夏のミスドは、大雪だ」、JR東海道・山陽新幹線のCM「スマートEX」の音楽に参加。2018年Seiko Summer Jazz Campに参加しQuincy Davisに師事。2021年発売のアルバム、池田篤「Free Bird」、中島朱葉「Looking For Jupiter」、井上陽介「Next Step」に参加。2024年スノーピーミュージアム館内の音楽に参加。同年2月発売の井上陽介トリオニューアルバム「One Step Beyond」へ参加。現在は池田篤(as)、井上陽介(b)各グループへレギュラーメンバーとして参加。その他に植松孝夫(ts)、椎名豊(p)、中島朱葉(as)、宮里陽太(as)、伊藤君子(vo)、鈴木道子(vo)、梶原まり子(vo)、渡辺香津美(gt)、Charito(vo)などと共演、関東を拠点に活動している。



松島啓之(マツシマケイジ)

1967年11月17日神奈川県藤沢生まれ。

中学時代にトランペットを始め、その頃からジャズに目覚める。88年～91年までの二年半ボストンのバークリー音楽大学に留学。同じ頃のキャンパスには大西順子、大坂昌彦、山田穰、ロイ・ハーグローブらがいる。

帰国後さまざまなセッションに単身で参加、ハードバップ色の強いトランペットスタイルで各方面の注目を集める。その後、日野元彦、峰厚介、本田竹廣、小林陽一&グッドフェローズ等のグループで活躍。

過去に5枚のリーダーアルバムをリリース。最新作は dedicated to you(Mock Hill records)。

現在は自己のカルテットの他に大野雄二&ルパンティックシックス、熱帯ジャズ楽団などで活躍中。



中島朱葉(ナカシマアキハ)

1992 年生まれ、和歌山県出身

中学で吹奏楽部に入部しアルトサックスを始める。映画「SWING GIRLS」を見てジャズに憧れ、一年で退部しジャズの勉強を始める。チャーリーパーカー、ビルエヴァンス、ウェイنشオーター、アートブレイキー等から多大な影響を受ける。

中学3年生頃から関西地方を中心にライブ活動を開始。

2012年、バークリー音楽大学へ学費全額免除生として入学。二年間在学し、帰国。東京を拠点に演奏活動を始め。

自己のカルテットをはじめ、石若駿(dr)率いる「Answer To Remember」や、若手の精鋭達と結成したバンド「.Push」での活動の他、土岐英史(as)、大口純一郎(p)、椎名豊(p)、大西順子(p)、北川潔(b)、井上陽介(b)などの様々な著名ミュージシャンとの共演も重ねている。

2021年6月、初リーダーアルバム「Looking For Jupiter」をリリース。

繊細な感性と卓越したリズム感、ジャズの伝統に根ざした歌心溢れるプレイは、ベテランから若手まで世代を超えた共演者から高く評価されている。現在のジャズシーンで最も注目を集める若手ジャズミュージシャンである。



石田衛(イシダマモル)

1978年5月1日生まれ。東京都江戸川区出身。幼少の頃より父親の影響でジャズに親しみ、トランペットを手にするが、ピアノに転向。ジャズ研やジャムセッションで腕を磨く。鈴木勲(b) 原朋直(tp) 本田珠也(ds) 峰厚介(ts) 山口真文(ts) 山田穰(as) Eric Alexander(ts) Gene Jackson(ds) JiLL-Decoy association らと共演。様々なライブやレコーディングに参加している。3枚のリーダーアルバム「IEMANRO」(2007) 「ISHIDA MAMORU 4 feat. MIKE RIVETT」(2011) 「AFTERGROW」(2023)がある。



若井俊也(ワカイシュンヤ)

1988 年生まれ。

愛知県名古屋市出身。

3 歳よりヤマハ音楽教室に通いクラシックピアノ、作曲などを学ぶ。明治大学入学と同時にコントラバスをはじめ、翌年大学を中退し演奏活動を開始。

2013 年に、マイルスデイビスのバンドに在籍した唯一の日本人であるケイ赤城氏のトリオに加入しレギュラーメンバーとして数々の国内外のツアーとアメリカでのレコーディングに 2 枚参加。

現在、ケイ赤城トリオ、ユキアリマサトリオ、渡辺翔太トリオ、井上銘グループ、村田千紘カルテットなど様々なバンド、セッションで都内を拠点として全国で精力的に活動中。

2019 年より洗足学園音楽大学非常勤講師。

2021 年初リーダーアルバムを発売。



竹内亜里紗(Piano)

1968年12月8日生まれ香川県高松市出身

三歳よりピアノを始める。

ピアニストの父親の影響によって幼少の頃よりジャズに興味を持ち、国立音楽大学在学中、坂本輝氏に師事。同大学を中退の後、1988年 新宿「ザ・カーニバル」に出演 プロ活動を開始する。

大井貴司(Vib.)&スーパーバイブレーション、宮之上貴昭(Gt)&スモーキン、村田浩(Tp)&ザ・バップバンド、宇山恭平(Gt)カルテット等のバンドに参加。ジミー・コブ(Ds)、エディ・ゴメス(B)、レッド・ホロウェイ(Ts.)ら、海外アーティストとの共演も多数。

金子亜里紗名義で3枚のリーダーアルバムを発表。

2005～2020年、日本を代表するアルトサックス奏者である澤田一範のカルテット、with Strings でレギュラーピアニストを務める。

現在は自己のリーダーバンド "BeBop Revisited!" を中心にライブ活動中。ビ・バップをこよなく愛しリアル・ジャズを追求するピアニストである。



藤田耕平(Bass)

1963 年生まれ。愛媛県出身。

大学入学とともにベースをはじめ、25歳より都内のライブハウスで演奏する。1994年渡米 ニューヨークで活動。university of the street のセッションのハウスベーシストを2年行う。1997年より松山、2004年より現在まで東京で バップスタイルのバンドを中心に演奏。近年は独特のスタイルを持つ ピアノやヴォーカルでの活動も行っている。



柳沼佑育(Drums)

1992年福島県出身。

2011年4月に尚美学園大学入学後、木村由紀夫氏に師事。

Philly Joe Jones 等のジャズドラマーに影響を受け、ビバップ、ハードバップスタイルのドラムに特に傾倒する。在学時より、さまざまなミュージシャンとの共演を重ねる。現在、主に都内を中心に活動中。多種多様な場面における、バップドラミングの可能性を追求している。